

平成25年度「子どものための国際理解講座」

海外の日本人学校に派遣されていた4人の教員が、現地の様子を報告する「夏休み国際理解教室」～世界を旅しよう IN 大野小～が、岡山市立大野小学校で、7月25日(木)に開かれました。

- ① 浅野先生 (三勲小学校) アメリカ
- ② 小島先生 (幡多小学校) 中国
- ③ 藤野先生 (岡山県教育庁) 台湾
- ④ 瀬川先生 (大野小学校) ドイツ

の順番で、約2時間の講座になりました。



まず始めに、岡山県国際理解教育研究会の鳥居会長が、70人余りの子どもたちと、10人ほどの保護者に、あいさつをしました。「先生は、マレーシアに3年間行っていました。これは、バティックという服です。後ろに色々な国の品物があるので、後で手にとって見てください。ここに集まった10人くらいの先生方は、いろいろな国に派遣されていた先生たちです。お話のある4人の先生だけでなく、その他の国についても、ぜひ質問して、みんなが世界の国について興味をもってくれたら嬉しいです。」



さて、1番目の国はアメリカでした。三勲小学校の浅野先生が、クイズ形式で話をしました。第1問。アメリカは日本の、だいたい何倍の広さでしょう。2.5倍。25倍。250倍。答えは、25倍です。3時間走っても、ずっと真っ直ぐな1本道がありました。では、アメリカの首都はどこでしょう。テキサス。ニューヨーク。ワシントン。この問題は、ニューヨークと答える子どもが、1番たくさんいました。答えは、ワシントンです。イチローがいた西海岸のシアトルは、ワシントン州にありますが、首都は、ワシントンDCで、ニューヨークの近く東海岸にあります。では、この有名人は、アメリカ生まれでしょうか。シュワルツネッカー。アインシュタイン。オバマ大統領のお父さん。答えは、シュワルツネッカーは、オーストラリア出身。アインシュタインは、ドイツ出身。オバマ大統領のお父さんは、ケニア出身です。アメリカは、人種のるつぼと言って、たくさんの国の人々が、一緒に暮らしているのです。



平成25年度「子どものための国際理解講座」その2



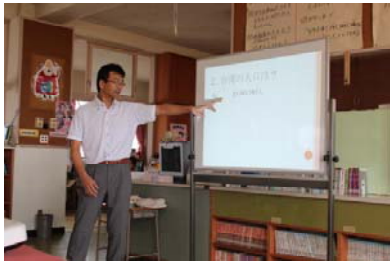
「次の問題は、アメリカで見なかった野生動物は、次のうちどれでしょう。鹿。ワニ。バッファロー。野良ねこ。答えは、野良ねこです。先生が住んでいたミシガン州は、冬の寒さが厳しくマイナス20度にもなります。ですから、野良ねこが住めないのかなあと思いました。では、最後の問題。アメリカにもある店はどれでしょう。吉野家。マクドナルド。回転寿司。答えは、全てあるです。アメリカでは食べ物が大きくて、日本のビッグマックが、アメリカでは一番小さいくらいです。味も微妙に違います。他にも、「ワンピース」や「ナルト」の漫画など、日本の文化がたくさん入ってきています。」

さて、2番目の国は中国でした。幡多小学校の小島先生が、やはりクイズ形式で話をしました。まず、中国の面積や人口は、日本の何倍でしょうと質問しました。面積は26倍で、人口は11倍です。それから、ベトナムと韓国と中国の旗を比べました。中国の国旗の意味は、赤色が革命と成功を、大きい星がリーダーたち、小さい星が国民を表しているということでした。中国の言葉は、漢字で書き表すので、1年生の教科書を見せてくれましたが、日本人にとっては難しい教科書でした。次に、同じ漢字でも日本と意味が違うものを紹介しました。「手紙」は、トイレットペーパーの意味になります。「火車」は自動車です。そして、「汽車」は自動車のことになります。みんなは、学校でがんばって勉強していますが、「勉強」は無理矢理させるという意味なのです。さらに「新聞」はニュースのことです。驚くのは、「歩く」は走ることで「走る」は歩くことや前に進むことを表します。中国は、日本のとなりの国ですが、日本と考えが異なることも多く、微妙な関係にあります。また、上海のような大都会もあるし砂漠もあります。これからも、中国は日本と深いつながりがありがある国ですから、お互いに仲良くできたらいいですね。」

平成25年度「子どものための国際理解講座」その3



休憩時間に、展示物を見ています。



さて、3番目の国は台湾でした。岡山県教育庁の藤野先生が、話をしました。まず、世界地図で場所を確認しました。次に人口や面積については、九州くらいの島に約2,300万人が住んでいるそうです。台湾は、戦争前には50年くらい日本に統治されていて、今でもお年寄りには日本語が話せるし、日本の歌も歌えるそうです。また、日本の漫画や「モチモチの木」などが中国語に翻訳されてあるそうです。次に、フルーツの紹介がありました。日本より細長くて大きいスイカ、日本にはないドラゴンフルーツやタピオカなどです。コココーラは、漢字で「可口可樂」と書きます。新年を祝う花火や、ドラゴンボートレースの話もありました。



さて、最後はドイツでした。会場校の大野小学校の瀬川先生が、話をしました。ドイツは、日本から飛行機でおよそ12時間、日本との時差は7時間の国です。面積は日本と同じくらいで、緑が多く自然が豊かです。ソーセージやビール、「赤ずきんちゃん」などのグリム童話や自動車、サッカーが強いことでも有名です。次に、ドイツの学校の話です。始まりが8時と早いため、野菜・果物・牛乳などを、おやつとして食べます。飲む水は、買うことが多く、水よりも炭酸水が好まれているそうです。食事は、ご飯ではなく、パン・じゃがいも・チーズ・ソーセージが主なものだそうです。年間の行事としては、カーニバルや移動遊園地、聖マルチン祭やクリスマスなどがあります。クリスマスは、日本と違い、クリスマスイブの12月24日にやってくるのはサンタクロスではなく天使が来るといわれています。ドイツは環境問題に取り組んでいる先進国としても有名です。ごみ処理では、紙ごみのごみ箱、ガラスのごみ箱、古着のごみ箱、くつのごみ箱、生ごみのごみ箱、プラスチックのごみ箱、リサイクルできないもののごみ箱というように細かく分別しています。

